

事業所名		守谷市こども療育教室		公表日		令和7年10月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法律で定められた基準以上の床面積となっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で規定されている人員以上の人数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、こどもの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		指導の部屋と自由遊びの部屋を分けたり、指導室内には余計な掲示物を貼らない等の配慮を行っています。また、施設内はバリアフリー化されています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日常・定期清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		常に個別対応が可能で部屋で療育支援を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		随時、職員間での話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、実施しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		協議すべき内容について、話し合いの場を設けて職員全体で検討しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	守谷市が実施する事務事業評価において業務の見直しと改善を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内での研修開催や、外部の研修会に参加しています。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所の支援プログラムをホームページで公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子さまの実際の様子と家庭での様子の聴き取り等を基に計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者と支援担当者の両方で確認し、計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画は職員全員が閲覧できるようになっています。また、毎回の指導時の保護者の話も踏まえて指導内容を検討しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		適応行動に特化したアセスメントは実施していませんが、発達質問紙による評価と毎回の指導時の様子からお子様の実態把握を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者との相談、幼稚園・保育所との連携等を必要に応じて行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		課題内容や手続き、教材等に関して、随時、職員間で話し合っています。	

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動はお子さまの実態と指導結果を鑑みて検討しています。その中で継続的に取り組むことが望ましいと考えられる活動に関しては繰り返し実施することがあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	集団活動は実施していませんが、所属する幼稚園、保育園との連携を随時実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事務室内に時間割を掲示し職員の役割を記載し、支援開始前に役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		各指導員が支援の振り返りと記録作成を行っており、必要に応じて職員間で情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回、個別指導記録を作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月ごとに計画の見直しを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	これまでに会議開催の機会がありません。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健センターやすくすく保育課、教育指導課等の関係機関との連携を随時行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、幼稚園・保育所への訪問や、こども療育教室の見学、電話での情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校・特別支援学校への入学の際に、希望者について引継を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	近隣に児童発達センターがなく、機会がありません。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	お子様の通っている幼稚園、保育所との連携や、利用できる施設等の情報提供を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の療育指導内の時間やお電話等でお話する機会を設けています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援として、個別の相談や助言を毎回の個別指導の際に行っています。保健センター等が実施する家庭支援プログラムについては、掲示板等でお知らせしています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に説明をしています。また、条例や運営要綱を掲示しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画の作成時には、お子様の実態を基に保護者の方と相談しながら目標を決定しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		内容をご確認いただき、署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回の療育指導の際に、ご家庭での様子などを伺っています。また、指導時以外の相談にも対応しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		個別指導での通所が中心であるため、保護者会は開催していませんが、市内の父母の会などの情報提供を行っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		療育指導の際の相談以外にも、電話や面談による相談に応じています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		会報は発行していませんが、行事予定や周知事項は掲示板及び紙面で通知しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法令に則った取扱いをしています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚的情報等を活用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	特に地域住民を招待するような活動は行っていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、掲示しています。掲示していないものにつきましては、利用契約や個人面談の際にご説明しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しています。また、定期的に北守谷公民館と合同の避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		個別に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事をする機会がありません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員間で共有しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		配慮事項について、保護者への案内を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		該当する出来事は、職員間での情報共有を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内で職員研修会を開催しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束等の適正化のための指針を作成し、掲示しています。	